



総研大ニューズレター

第56号 2013.1 発行

●目次

【今月のトピックス】	「卓越した大学院拠点形成支援補助金 交付決定	学務課
	「平成24年度生命科学リトリート 開催	生命共生体進化学専攻
	「総研大精選講義「量子力学概論」 開講	学長補佐
	「学術映像のタベ2012 開催	学融合推進センター
	「文化科学研究科・学術交流フォーラム 開催	日本歴史研究専攻

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定	
1月11日	地域文化学専攻 学位申請論文公開発表会
1月11日～12日	生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス
1月18日	国際日本研究専攻 学位申請論文公開発表会
1月22日	総研大サイエンスカフェ
1月23日、25日	国際日本研究専攻 学位申請論文公開発表会
1月24日～25日	学融合研究事業・公開報告会
1月29日	核融合科学専攻 学位論文公開発表会
1月29日～2月1日	核融合科学専攻 アジア冬の学校
1月31日	異分野結合フォーラム

【今月のトピックス】

● 「卓越した大学院拠点形成支援補助金」交付決定

「卓越した大学院拠点形成支援補助金」は、優秀な学生をひきつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進することを目的として、優れた研究基盤を活かし高度な教育と研究を融合する卓越した大学に対し、博士課程の学生が学修研究に専念する環境を整備するために必要な経費を文部科学省が支援するものです。

総合研究大学院大学では、以下の4専攻が、事業実施要項に示す指標により「我が国の学術研究を格段に発展させる研究者を一定数以上擁し優れた研究基盤を有する博士課程の専攻等」として選定されました。

また、独立行政法人日本学術振興会が行った当該専攻等の教育研究実績に基づく卓越性の評価の結果、☆印を付した2専攻が、「S」としてグループ分けされ特に高い配分率を得ました。

この評価の結果を踏まえ、総合研究大学院大学への交付金総額は、全国の大学において第9位に位置づけられました。今後、生理科学専攻の岡田泰伸教授（専攻長）を実施責任者として、本補助金による事業を実施して参ります。

- ・文化科学研究科日本文学研究専攻
- ・生命科学研究科遺伝学専攻（☆）
- ・生命科学研究科基礎生物学専攻
- ・生命科学研究科生理科学専攻（☆）

関連リンク：文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/takuetsu/1329135.htm

【文責：学務課】

● 平成 24 年度生命科学リトリートを開催



全学教育事業「生命科学リトリート」が平成 24 年 12 月 6 日～7 日の 2 日間の日程でヤマハリゾートつま恋・コンベンションホール（静岡県掛川市）で行われました。本事業は生命科学研究科の基礎生物学専攻・生理科学専攻・遺伝学専攻と先導科学研究科生命共生体進化学専攻の 4 専攻によるものですが、本年も複合科学研究科極域科学専攻、物理科学研究科構造分子科学専攻、統合生命科学教育プログラムからの参加もあり、総勢 125 名の参加者となりました。

例年通りリトリートは学生主体でプログラムが作られ、今年は” Cross Borders ” という標語が学生委員により与えられました。今年度のリトリートでは 2 つの講演（国利環境研・五箇公一先生、遺伝学専攻・広海健先生）と学生によるポスターセッションが行われました。ポスターセッションではディスカッションの時間に先立ってプレポスターセッションが行われ、すべてのポスタープレゼンターは 1 分間の研究紹介の時間が与えられました。招待講演、プレポスターセッションは原則英語で行われ、留学生との円滑なコミュニケーションができただけでなく、学生の英語発表の良い練習の機会となりました。

普段接する事のない他専攻の学生や教員に自分の研究を説明する事は、発表者自身の研究に新しい視点からの提案を受けるだけでなく、自分の研究をより広い視野で捉える絶好の機会となりました。



ポスターセッションの様子



講演を聞く参加者



プレポスターセッションの様子

【文責：生命共生体進化学専攻 助教 五條堀淳】

● 総研大精選講義「量子力学概論」を開講

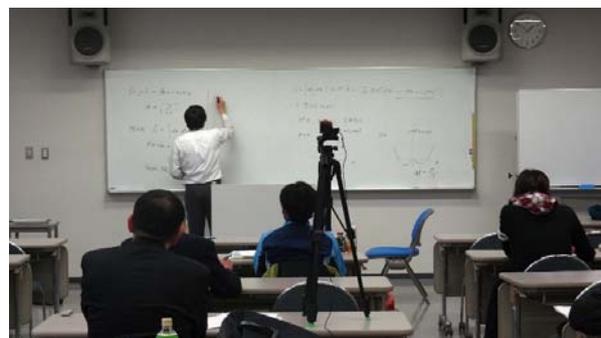
平成 24 年 11 月 20 日から 22 日まで、総研大葉山キャンパスにおいて、京都大学理学部教授 川合光氏による表記の集中講義が開講された。講師の川合氏は、専門研究分野である素粒子論、とくにその中でも最も先端的とされる超弦理論の世界的研究者の一人であるが、今回の講義では、物理分野だけではなく化学、生物学、統計学など様々な分野の学生を対象とした大学院レベルの量子力学を 3 日で行うという、とんでもない難題をお願いした。



受講学生は 8 名（1 人欠席 1 人途中退席）、非登録受講者は学長を含め 4 人と比較的少数であったが、受講学生の専攻は素粒子原子核、分子、宇宙、天文、統計、遺伝と幅広く、講義がどう展開されるのか、少々気がかりではあった。幸い、講義後の学生との歓談で、その不安が杞憂であったことを知った。

講義の内容は下記のごとくであるが、私にとって、大学院レベルの学生に基礎力を涵養するというのは、こういう内容の講義だと感嘆させられるものであった。

- ・ 量子力学の枠組み
- ・ 合成系の自由度、同種粒子の場合
- ・ 観測と確率解釈
- ・ 多世界解釈
- ・ 密度行列とエントロピー
- ・ 古典力学と量子力学、量子化の手続き
- ・ 正準量子化と経路積分
- ・ 第二量子化
- ・ 場の量子化
- ・ 対称性の自発的破れ



一応、学生は学部レベルの量子力学の知識は持っているものとして進められたが、量子力学の枠組みで状態の概念や波動関数とシュレーディンガー方程式など、基礎的なことを復習したため、量子力学を知らない学生でも講義の進展をフォローすることで量子力学が分かる仕組みになっていた。特に、初めて量子力学を学ぶ学生にとって難解な、観測と確率解釈を多世界解釈を通して理解する方法は、猪木・川合の「量子力学」を含め一般的に知られているどの教科書にも見られない斬新的なものであった。密度行列とエントロピーなどのテーマも織り込み、全体として分子や統計を専攻する学生にも配慮した構成になっていた。第二量子化は、多くの教科書で行われるトップダウンな代数的方法でなく、正準量子化を経路積分で表示したのち、波動関数表示により、解析的で構成論的な方法で生成消滅演算子が導入された。最後に、場の量子化の応用として最も模範的で現在的なテーマである自発的対称性の破れが取り上げられた。時間の関係でこの概念が超電導、超流動、ヒッグス粒子などと、どう関係しているかまで詳しく解説することができなかったが、いろいろな分野でこの考え方がいかに展開されているかを、受講した学生が再発見するかもしれないという期待を込めた解説であった。

さらに、講義とともに、中村真京都大学特別研究員による演習が行われ、講義の内容を補完した。

最後に、このような素晴らしい講義を準備してくれた川合光先生に感謝したい。なお、この講義をより多くの学生に伝えるため講義録を作成する予定である。

【文責：学長補佐 湯川哲之】

● 「学術映像の夕べ 2012」を開催

12月20日（木）に鎌倉芸術館にて、一般の方々を対象に、「学術映像の夕べ 2012」を開催しました。本学における学術映像教育の成果（映像作品）の一部を紹介するとともに、科学映画の名作の上映と研究者や映画制作者による解説を通して、映像により科学を記録することの重要性や問題点および社会における科学映像の役割と可能性について考える機会となりました。

師走の平日夜に、一般12名、総研大関係者（運営スタッフを含む）15名、合計27名にご参加いただきました。一般の方々は、高校生から80歳代まで幅広い年代の男女にご参加いただき、その中心は40歳代と70歳代の男性でした。

アンケートでは、上映と解説を通して新たな世界を知ることができてよかった、今後も継続して開催してほしい、といった旨の意見、感想を複数いただきました。また、今後取り上げてほしい分野として、天文学、物理学、生命科学、半導体などの科学技術、環境問題を希望する意見が寄せられました。

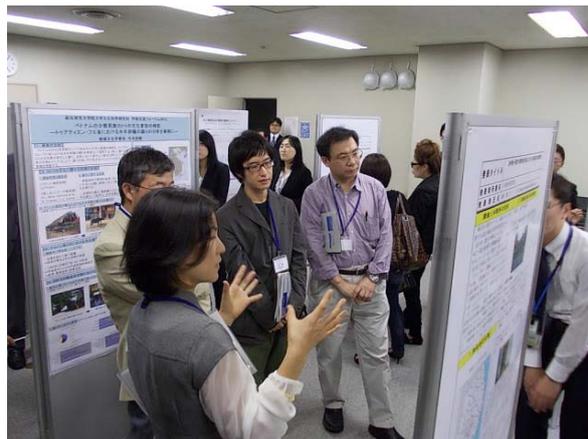
このような意見や感想を参考にしながら、これからも学内外において学術映像の上映会、研究会を継続して開催していきたいと思えます。



【文責：学融合推進センター 助教 村尾静二】

● 文化科学研究科・学術交流フォーラムを開催

本年度の文化科学研究科・学術交流フォーラムは平成24年10月21日（日）と22日（月）の二日間にわたり、千葉県佐倉の国立歴史民俗博物館（歴博）で開催されました。学術交流フォーラムは、総合研究大学院大学の文化科学研究科における6つの専攻の学術交流を目的に2006年より開催されてきました。「フォーラム」は、もともと専攻を越えた学生の交流を謳った「学生合同セミナー」として2005年に初めて行われ、翌年名称が「文科（文化科学研究科の略）フォーラム」に改まって、3年間続きました。また2007年からは教員主体の「学術フォーラム」も立ち上げられ、「文科フォーラム」に並行して行われていました。「学術交流フォーラム」は、本来同じ目的意識から生まれたこれらふたつの「フォーラム」が、統合されて一本化したものです。



1日目は、まず5人の学生による研究報告が行われました。主として、研究科のRT（リサーチ・トレーニング）事業による研究支援を受けた学生の成果報告です。「日本の情報系専門職大学院の教育に関する考察－大学院修士課程との比較から－」「慶安本『とうだいぎ』に見る古浄瑠璃正本の形態の変遷」「誘導技術としての鹿寄せ－奈良公園におけるシカの集合と移動をめぐる－」「米国南西部先住民族聖地のウラン鉱山開発をめぐる」「「記念植樹」と近代日本－1872年グラント将軍訪日記念植樹式一考－」の5つの報告は、高い問題意識を前提にした質の高い報告であり、熱心な質疑が時間いっぱいまで交わされました。

次いで、合計11のポスター発表が前半と後半に分かれて行われました。学生主体の趣旨により、すべて学生のみでの報告でしたが、研究成果を限られたスペースのなかに手際よくまとめたもので、ここでも熱心な質疑が交わされました。ポスター発表終了後、レストラン「さくら」においてレセプションが催され、専攻が異なる学生や教員間の親睦を深めました。



2日目は、午前中にフォーラムが開催されました。今回は日本歴史研究専攻が置かれている国立歴史民俗博物館が会場となっていることにちなみ、「博物館の役割－集める・保つ・伝える・究める－」というテーマで、各専攻の教員に自己の研究における資料の扱いや公開などの手法を開陳していただき、学生からのコメントによりディスカッションをおこないました。発表は落合博志先生（日本文学専攻）、近藤智嗣先生（メディア社会文化専攻）、小島道裕先生（日本歴史研究専攻）の3名が担当され、久保正敏先生（地域文化学専攻）と荒木浩先生（国際日本文化研究専攻）の2名にコメントをお願いしました。展示についての先端的な手法や理念的なあり方などたいへん興味深い議論が交わされ、参加学生もアンケート調査によれば大いに啓発されたように思います。

午後にはワークショップ「研究を伝える」が開催されました。まず企画展示「行列にみる近世－武士と異国と祭礼と－」を久留島浩先生（日本歴史研究専攻）の解説により見学した後、学生の研究を一般の人にも分かり易く伝えるための方法を考えることにより、研究の展示や伝達方法

について議論しました。教員と学生が身近に、真剣かつなごやかに議論することで、研究を伝えることのよい経験になったと思います。

今回のフォーラムは学生企画委員が主体的に計画立案することを重点に置きました。学生企画委員の努力と工夫により、こうした主体的な運営の目的は達成されたと思います。講演者・パネリストとしてお話いただきました学生および先生の皆様、そして開催時期が例年よりもはやくなり短期決戦ではありましたが、この学術フォーラムについてアイデアを出して、豊かな会にデザインしていただいた学生企画委員の皆様、各専攻の先生方、さらには葉山および基盤機関の事務の皆様にご心からお礼を申し上げます。学生と教員の研究科単位の交流を今後も大きく拡大発展させていくことを願っております。

【文責：日本歴史研究専攻長 仁藤敦史】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h24taizai.html		
平成 25 年度共同開発研究等	平成 25 年 1 月 31 日(木)必着 (共同開発研究・研究集会第 1 回・共同研究) 平成 25 年 6 月 28 日(金)必着 (研究集会第 2 回)	総合研究大学院大学 学融合推進センター 事務係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		総合研究大学院大学 学務課研究協力係
平成 25 年度総合研究大学院大学 「学長賞」	平成 25 年 1 月 18 日まで	
http://www.soken.ac.jp/news_all/2710.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

2013 年 1 月

日程	時間	行事名	場所
11 日(金)	15:00—	地域文化学専攻 学位申請論文公開発表会	国立民族学博物館 2階第7セミナー室
11 日(金) -12 日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	総研大葉山キャンパス
http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20130111.html			
18 日(金)	13:00-15:00	国際日本研究専攻 学位申請論文公開発表会	国際日本文化研究センター(北研究棟・第 5 共同研究室)
	15:30-17:30		
http://www.nichibun.ac.jp/grad/index.html			

22日(火)	18:00-20:00	サイエンスカフェ 「ハダカデバネズミをめぐる進化の謎解き」	葉山町 レストラン「夕凧亭」
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2830.html		
23日(水) 25日(金)	23日 13:00-15:00 25日 14:00-16:00	国際日本研究専攻 学位申請論文公开发表会	国際日本文化研究センター(北研究棟・第5共同研究室)
	http://www.nichibun.ac.jp/grad/index.html		
24日(木) -25日(金)		学融合研究事業・公開報告会	総研大葉山キャンパス 学融合推進センター棟 1階ホール 他
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2718.html		
29(金)		核融合科学専攻 学位論文公开发表会	核融合科学研究所 管理福利棟4階 第一会議室
29日(火) -2月1日(金)		核融合科学専攻 アジア冬の学校	核融合科学研究所 シミュレーション科学研究棟 1階会議室
	http://www-nsrp.nifs.ac.jp/aws2012/index-j.shtml		
31日(木)	10:30-17:40	異分野結合フォーラム	総研大葉山キャンパス 学融合推進センター棟 1階ホール

2月

日程	時間	行事名	場所
5日(火) -7日(木)		宇宙科学専攻 アジア冬の学校	宇宙科学研究所
	http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/winter_school/indexJ.html		
8日(金)	10:00-17:30 予定	統計科学専攻 学生研究発表会	統計数理研究所 3階 セミナー室1(D305)
	http://www.ism.ac.jp/senkou/		

3月

日程	時間	行事名	場所
21日(木) -22(金)		学術交流会	葉山キャンパス
22日(金)		学位記授与式	葉山キャンパス
26日(土)	13:00-17:30	遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所

● 基盤機関の行事

2013年1月

日程	時間	行事名	場所
6日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第282回 「移民のささえるヨーロッパ」	国立民族学博物館

8日(火) -9日(水)	未定	国際研究フォーラム 国際共同取材『中国・ロシア・モンゴル国のトゥヴァ人たち—テュルク系とモンゴル系のあいだ』	国立民族学博物館
12日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ 「パリ20区、僕たちのクラス」	国立民族学博物館
12日(土)	12:00-15:30	点字教室	国立民族学博物館 エントランスホール (本館 1F)
13日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第 283 回 「ヨーロッパのキリスト教」	国立民族学博物館
14日(月)	(1)10:30-12:30 (2)14:00-16:00	カルタを作って世界の「へび」を みてみよう!	国立民族学博物館 本館展示場 (ナビひろば)
14日(月)	10:00— 10:40— 11:20— 13:00— 13:40— 14:20— (各回 40 分 程度)	おりがみで遊ぼう! ~干支シリーズ~『巳』	国立民族学博物館 エントランスホール (本館 1F)
15日(火)	14:00-16:00 (開場 13:30)	第 263 回日文研フォーラム(発表タイトル未定)	ハートピア京都 3階大会議室
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
15日(火) -16日(水)	10:30-15:30	国際シンポジウム「21 世紀の民族学博物館」	人間科学館 (パリ、フランス) 主催:国立民族学博物 館
16日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座「大学生の数学 力、なう—数学基本調査をよくみると?」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			
19日(土)	13:00-17:00	第 87 回歴博フォーラム「巳年の初囃」	ヤクルトホール
19日(土)	13:30-15:00	第 416 回みんなくゼミナール 「ヨーロッパのキリスト教とファシズム—ルーマニア・レジオナル運動を中心に—」	国立民族学博物館
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第 284 回 「アンデスの神殿とその魅力」	国立民族学博物館
20日(日)	13:15-13:45	【地球おはなし村】おはなし、おはなし ~西アフリカの昔話をかたる~	国立民族学博物館 エントランスホール (本館 1F)

24日(木) 25日(金) 27日(日) 28日(月)	24日: 13:00-15:00 25日: 10:00-16:00 27日: 9:30-17:10 28日: 9:40-16:30	国際ワークショップ「民族学資料の保存と修復—博物館バックヤードの利用率向上と自然素材資料の修復」	24日:元興寺文化財研究所 25日:奈良国立博物館 27日、28日:国立民族学博物館 主催:国立民族学博物館
26日(土)	13:30-15:30	第166回くらしの植物苑観察会 「都のなかの安らぎ空間」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
26日(土)	10:00-17:10	国際シンポジウム 「グローバル化における紛争と宗教的社会運動—オセアニアにおける共生の技法」	国立民族学博物館
26日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんぱくフォーラム2013】 パンセミナー 「北欧のパン—ライ麦パンってどんな味？」	国立民族学博物館
27日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第285回 「路上空間は誰のもの?—路上商人による暴動を事例に」	国立民族学博物館
27日(日)	13:00-16:00	公開フォーラム 「古代文明の生成過程:マヤとアンデス」	キャンパス・イノベーションセンター東京 主催:国立民族学博物館

2月

日程	時間	行事名	場所
2日(土)	13:30-15:30	第17回歴博映画の会 「水俣病を考える—土本典昭の作品から—」	国立歴史民俗博物館
2日(土) -3日(日)	14:30-15:30	国際研究フォーラム「在外資料の調査研究Ⅲ—バルト海周辺地域の日本コレクション」	国立民族学博物館
3日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第286回 「ヨーロッパの生業と1年」	国立民族学博物館
9日(土)	13:00-15:00	第350回歴博講演会「出土漆に見る日本の歴史」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんぱくフォーラム2013】 パンセミナー 「東欧のパン 礼拝ではワインとともに」	国立民族学博物館
10日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第287回 「オセアニアの紛争」	国立民族学博物館
10日(日)	未定	国際シンポジウム「『樹について考える』シンポジウム」	国立民族学博物館

10日(日) -11日(月)		VERA 小笠原観測局 スターアイランド 2012	VERA 小笠原観測局他 主催:国立天文台
http://www.miz.nao.ac.jp/content/news/event/20121117-215			
2月13日(水) -3月31日(日)	9:30-16:30	総合展示 和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
15日(金)	10:00-18:00	国際シンポジウム「モンゴル国における鉱業開発の諸問題—歴史的視点から」	国立民族学博物館
16日(日)	14:30-15:30	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム 2013】 第417回みんなくゼミナール 「変わるヨーロッパの言語地図—多『言語』社会から『多言語社会』へ」	国立民族学博物館
17日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第288回 「ベルリンで既制服が生まれた頃」	国立民族学博物館
23日(土)	13:30-15:30	第167回くらしの植物苑観察会 「風土記に見える植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム 2013】 パンセミナー「ドイツのパン 地方の特徴、そして伝説」	国立民族学博物館
24日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第289回 タイトル未定	国立民族学博物館
26日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「故障に耐えるコンピュータ —壊れても使えるシステム作りとは?—」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			

3月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第290回 タイトル未定	国立民族学博物館
9日(土)	13:00-15:00	第351回歴博講演会「人と動物の考古学」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム 2013】 パンセミナー「イタリアの日常生活とパン」	国立民族学博物館
14日(木) -6月11日(火)	10:00-17:00	特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」	国立民族学博物館 特別展示館
16日(土)	13:30-15:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム 2013】 第419回みんなくゼミナール 「家族の今—イタリアの事例から考える」	国立民族学博物館

17日(日)	13:30-15:00	国際シンポジウム 「文化を展示すること—日本とヨーロッパの遠近法を考える—」	国立民族学博物館
17日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第291回 タイトル未定	国立民族学博物館
19日(火) (予定)	9:30-16:30	第4展示室 特集展示 「東日本大震災と復興(仮称)」	国立歴史民俗博物館
22日(金)	10:00	本館展示新構築 日本の文化のうち「祭りと芸能」と「日々の暮らし」 オープン	国立民族学博物館
22日(金)	未定	学術講演会「タイトル未定」	国立民族学博物館
23日(土)	13:30-15:30	第168回くらしの植物苑観察会 「春を告げる華花-祝いと祈りの草木たち-」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会「人生、ここにあり！」	国立民族学博物館
24日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第292回 タイトル未定	国立民族学博物館
31日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第293回 「韓国の多民族化はいま」(仮称)	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

物理科学研究科

機能分子科学専攻

○浜坂剛 助教

石田賞 受賞

○東林修平 助教

2012年度有機合成化学奨励賞 受賞

複合科学研究科

情報学専攻

○神門典子 教授ら

The 8th Asian Information Retrieval Societies Conference (AIRS 2012) にて、
Best Paper Award 受賞

○河原林健一 教授

第9回(平成24年度)日本学術振興会賞 受賞

生命科学研究科

遺伝学専攻

○伊原伸治 助教

第1回竹中奨励賞 受賞

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。

総研大ニューズレター56号をお届けします。今年も毎月欠かさずお届けしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

昨年末に発表された「卓越した大学院拠点形成支援補助金」交付決定のニュースは、本学にとってとても明るい話題のひとつとなりました。補助金は全国の24大学に交付されましたが、小規模な本学が旧帝国大学と肩を並べるように獲得総額第9位に位置づけられたのは、とても名誉なことと思っております。これを機に、さらなる飛躍に向けて各基盤機関とともに発展し続けていくことを祈念してやみません

葉山キャンパスは緑に囲まれた自然環境のすばらしいところですが、建物の内外のいろいろな場所に花と緑がたくさん飾られているのをご存じでしょうか。これはもっぱらお掃除の関さんが育ててくださっているものです。葉山キャンパスに足をお運びの折には、季節の花と緑をぜひお楽しみください。

新年の富士と花と緑をお届けします。



◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2013年1月9日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課（担当）

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2013 SOKENDAI